

## アッヴィ、2014年度第3四半期の業績を発表

November 13, 2014

本資料は、米国アッヴィ社が2014年10月31日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、11月13日、皆様のご参考に供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) またはAbbVie - Investors - Financial Releaseをご覧ください。

- 第3四半期の調整後の1株当たり利益（EPS）は0.89ドル（8.5%増）で、前回発表した0.77ドル～0.79ドルの見通しを良好に上回っている〔Generally Accepted Accounting Principles（一般に公正妥当と認められた会計原則：GAAP）に基づくEPSは0.31ドル〕。
- 2014年度の調整後のEPSの見通しは3.25ドル～3.27ドルとなり、前回発表した3.06ドル～3.16ドルから大幅に上昇（GAAPに基づくEPSの見通しは、1.15ドル～1.17ドル）（この2014年度の見通しはc型肝炎治療に関する潜在的な売上高を除く）。
- 収益は前年同期比7.8%増（営業ベース8.3%増）の50億1,900万ドル。脂質関連の売上高を除いた売上高は調整後13.5%増。
- ヒュミラの世界的収益が17.5%増（営業ベース17.8%増）となり、その他の主力製品の力強い成長が収益の増加に反映。
- 2014年中に米国で併用によるc型肝炎治療薬の承認取得を見込んでいる。加齢に伴う疾患向けの創薬開発を目的にCalico社との新たな提携関係を発表。がん治療のPI3K阻害薬としてduvelisibの開発および販売に向けた世界的な提携関係によるパイプラインの更なる強化。

米国イリノイ州ノースシカゴ（2014年10月31日） - アッヴィ（NYSE：ABBV）は、本日、2014年度第3四半期（9月30日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「当社の第3四半期の決算は、ヒュミラおよびその他複数の主力製品による2桁の伸びを示す力強い業績を反映したものです。脂質関連を除く当社の基幹事業は、今期約14%の伸びを示しています。今期は当社の見通しを超え、当初の予測を大幅に上回る結果となりました。第4四半期では、c型肝炎に対するインターフェロンを使用しない併用による治療法に関する承認取得が米国で見込まれており、これにより2015年以降の売上高および収益の増加が更に加速すると考えています。」

### 第3四半期の業績

- 第3四半期における全世界での売上高は、7.8%増の50億1,900万ドルでした。営業ベースの売上高は、0.5%の為替レート変動による影響を除いた場合、8.3%増でした。同四半期における売上高は、脂質関連フランチャイズの独占販売期間終了による売上高を除くと13.5%増でした。
- 第3四半期における売上高が増加したのは、主にヒュミラに関する堅調な業績が継続したことに基づくものです。ヒュミラの世界的売上高は、為替レート変動の影響を除き、17.5%増（営業ベースで17.8%増）でした。総売上高の増加は、主力製品であるKaletra、Synthroid、Creon、SynagisおよびDuodopaなどの力強い伸びに牽引されたものでした。
- 第3四半期における調整後の売上総利益率は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、前年同期比140ベースポイント増の81.1%でした。米国の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」に基づく売上総利益率は78.2%でした。
- 第3四半期の売上高に占める調整後の販売費および一般管理費（SG&A）の割合は、前年同期比9.1%増の26.4%となり、これは売上が伸びている製品および今後上市予定しているc型肝炎治療法に向けた継続的な投資によるものです。売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで31.8%でした。
- 第3四半期の売上高に占める調整後研究開発費（R&D）の割合は、前年同期比14.4%増の16.2%となり、これは中期および後期パイプライン、ならびにヒュミラの適応追加に対する開発への投資によるものです。売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで16.2%でした。
- 純支払利子は調整後で5,300万ドル、GAAPベースで1億2,800万ドルでした。第3四半期における調整後の税率は22.4%、GAAPベースで26.3%でした。
- 第3四半期における希薄化後1株当たり利益は、GAAPベースで0.31ドルでした。調整後および希薄化後1株当たり利益は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、0.89ドルでした。

### 第3四半期の主な出来事

- 10月20日、アッヴィとShire社は、10月15日付の当社取締役会の決定に伴い、計画していた合併を取りやめることに合意しました。当社の決定は、2014年9月22日に米国財務省から発表された通知に対する評価に基づき行われたものです。この通知には取引の経済的側面に悪影響を与える変更が含まれていました。そのため、計画していた取引では当初予定されていた費用は見合わないものとなりました。予定されている変更が重大であり、今後の取引に更に影響を与える税制の改正を継続するという財務省の意図を考慮した場合、この通知は許容しがたいリスクおよび不確実性を示唆するものでした。
- 10月20日、当社取締役会は50億ドルの新規株式買戻しプログラムを承認し、2015年1月15日時点の名簿記載株主に対し、2015年2月13日に支払う予定の当社の四半期配当金を1株当たり0.42ドルから0.49ドルへと、約17%引き上げました。また取締役会は9月19日、2014年10月15日の営業終了時点の名簿記載株主に対して、四半期配当金を1株当たり0.42ドルとして2014年11月17日に支払うと発表しました。

- 当 社とInfinity Pharmaceuticals社は、Infinity社のホスホイノシチド3-キナーゼ (PI3K) -δおよびPI3K-γの経口阻害剤 duvelisib (IPI-145) の開発および販売において、世界的な提携関係を締結しました。duvelisibは、無症候性非ホジキンリンパ腫 (iNHL) および慢性リンパ性白血病 (CLL) など幅広い血液がんにおいて臨床的活動を示しています。Infinity社は、iNHL患者さんに対する第II相試験DYNAMOおよびCLL患者さんに対する第III相試験DUOなど、duvelisibの安全性および有効性を評価するために登録を目的とした試験を実施しています。
- 当 社とCalico社は、神経変性疾患やがんなどの加齢に伴う疾患を有する患者さんに対する新薬の創出、開発および市販を促進することを目的とした、新たな研究開発の業務提携に関する発表を行いました。本合意に基づき、両社は互いの持つ強みを相補的に融合し、新薬の開発を推し進めます。Calico社は、科学的専門知識を活用し、創薬および初期開発に注力する世界クラスの研究開発施設を設立します。アッヴィは、科学のおよび臨床開発に関する専門知識を提供し、新薬の市販に向けた高度な支援を遂行します。
- 欧州薬品庁 (EMA) および米国食品医薬品局 (FDA) は、アッヴィの開発中の化合物ABT-414を希少医薬品に指定しました。ABT-414は抗上皮成長因子受容体の抗体薬物複合体であり、多形性神経膠芽細胞腫の患者さんに対する安全性および有効性に関する評価が行われています。多形性神経膠芽細胞腫は、発生頻度および悪性度がともに最も高いタイプの悪性原発性脳腫瘍であり、5年生存率は約4%です。
- 当 社は、第III相ヒポタル試験結果によって、中等度から重度の化膿性汗腺炎 (HS) の一般的な臨床徴候および症状に対しヒュミラが効果的であることが示されており、特に膿瘍および炎症性結節が減少したと発表しました。このデータは、European Society for Dermatological Research (欧州皮膚科学会: ESDR) で発表されました。PIONEER第I相試験の結果によると、週1回ヒュミラ40 mgを投与したHS患者さんでは、第12週にプラセボ投与と比較した場合、著しく優れた反応が示されました。アッヴィは、2回目のヒポタルHS試験として実施した第II相試験から得られた新たな結果を、先頃開催された第23回European Academy of Dermatology and Venereology (欧州皮膚科性病科学会: EADV) で発表しました。本試験の結果は、PIONEER第I相試験結果と併せて、ヒュミラの使用を拡大するための世界的な承認申請に寄与するものと考えます。
- 当 社とBiogen Idec社は第III相DECIDE試験の全結果を発表しました。この結果によると、月1回の高収率合成daclizumab皮下投与をインターフェロンβ-1aと比較した場合、再発寛解型多発性硬化症 (RRMS) の患者さんの疾患活動性の軽減に統計的に有意な改善が示されました。この結果は、ボストンで開催されたSixth Triennial Joint Meeting of the Americas Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis and European Committee for Treatment and Research in Multiple Sclerosis [南北アメリカ多発性硬化症治療研究委員会および欧州多発性硬化症治療研究委員会 (ACTRIMS-ECTRIMS) の第6回合同会議] で発表されました。両社は、世界各国の当局に対するdaclizumabの承認申請に取り組んでいます。2015年前半での申請実現を引き続き目指しています。
- FDA は、他の治療の効果が不良な場合、6歳以上の小児クローン病における徴候および症状の軽減ならびに臨床的寛解への到達および維持に対して、ヒュミラを承認しました。FDAから得たこの承認によって、米国でのヒュミラの適応症は8つとなり、この患者集団に対して使用が認められている最初で唯一の自宅で投与が可能な生物学的治療薬となりました。またFDAは、中等度から重度の多関節に活動性のある若年性特発性関節炎 (JIA) を有する2歳以上の患者さんの徴候および症状の軽減に対するヒュミラ適応の拡大を承認しました。
- 当 社は、現在進行中の第I相～第III相のC型肝炎に関する臨床開発プログラムのデータを、11月7日～11日にボストンで開催されるAnnual Meeting of the American Association for the Study of Liver Diseases [米国肝疾患研究会 (AASLD) の年次会議] で発表することを明らかにしました。抄録では、ジェノタイプ1型C型肝炎ウイルス (HCV) に慢性的に感染している患者さんを対象とし、リバビリン (RBV) 併用/非併用下で、3つの直接作用型抗ウイルス薬 (ABT-450/ritonavir, ombitasvir, dasabuvir) を組み合わせたアッヴィの開発中の治療法の結果に関する要約を紹介する予定です。この抄録には、1型ヒト免疫不全ウイルスにも感染している患者さんを対象とした第II相/第III相試験 (TURQUOISE-I) および肝硬変を併発していない肝臓移植者に対する第II相試験 (CORAL-I) も含まれます。またジェノタイプ4型の患者さんを対象として、ABT-450/ritonavir配合剤およびombitasvirのRBV併用/非併用下での投与を評価する研究的試験から得られた第II相データも発表します。アッヴィは、2つのパイプラインHCV化合物、ABT-493およびABT-530について得られたデータについても発表を行います。
- アッヴィは、開発中の化合物veliparibと化学療法の併用に関する現在進行中の第II相試験の中間結果を発表しました。その結果によると、未治療の転移性または進行性非小細胞肺癌 (NSCLC) の患者さんにおいて、35%の無増悪生存率の改善および30%の全生存率の改善がみられました。この結果はveliparibを転移性または進行性NSCLCに対する治療薬となる可能性を評価したものであり、スペイン、マドリッドで開催された2014 Annual Congress of the European Society for Medical Oncology [欧州腫瘍内科学協会 (ESMO) の2014年度年次会議] で初めて発表されました。

## 2014年度通年の見通し

アッヴィは本日、2014年度通年の希薄化後1株当たり利益の見通しを3.06ドル～3.16ドルから3.25ドル～3.27ドルへと引き上げました。アッヴィは、2014年度に米国で上市予定のC型肝炎治療法によって得られる可能性のある売上高を、2014年度の見通しから引き続き除外しています。2014年度の調整希薄化後1株当たり利益の見通しには、1株当たり2.10ドルの無形資産の償却費およびその他の特定項目 [主に分社化費、外部調達による仕掛研究開発費 (IPR&D)、Shire社との取引費用およびブランド医薬品の処方料に関連するもの] は含まれていません。これらの項目を含めたアッヴィのGAAPベースの調整希薄化後1株当たり利益は1.15ドル～1.17ドルです。

## アッヴィについて

アッヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。最先端のバイオテクノロジーと長い歴史を誇る医薬品企業の専門知識と組織を兼ね備え、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する先進的な治療薬を開発し、提供します。2014年現在、アッヴィは、世界で約25,000人を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。またTwitterにて@AbbVieをフォローまたはFacebookページをご参照ください。

## 非GAAPの業績

2013年度および2014年度の業績に関して、調整前 (GAAP) および調整後 (非GAAP) の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目 (以下に掲載する調整表に記載) を除外しています。アッヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアッ

グイの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2014年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

#### 今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Reform Act of 1995（1995年米国私募証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アツヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアツヴィの2013年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」に記載しています。アツヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

Media:	Investors:
Jennifer Smoter	Larry Peepo
(847) 935-8865	(847) 935-6722
Adelle Infante	Liz Shea
(847) 938-8745	(847) 935-2211

#### アツヴィ

##### 主要製品の売上高

第3四半期（2014年9月30日終了）

（未監査）

	売上高（単位：100万米ドル）			前年同期比						
	米国	米国外	合計	米国			米国外		合計	
				調整後	調整前	調整前	調整後	調整前		
<b>売上高合計</b>	<b>\$2,809</b>	<b>\$2,210</b>	<b>\$5,019</b>	<b>7.4%</b>	<b>9.5%</b>	<b>8.2%</b>	<b>8.3%</b>	<b>7.8%</b>		
Humira	1,739	1,516	3,255	25.3	10.3	9.7	17.8	17.5		
Kaletra	53	203	256	(14.1)	19.7	16.5	10.7	8.4		
AndroGel	232	--	232	(6.7)	n/a	n/a	(6.7)	(6.7)		
Synthroid	200	--	200	24.3	n/a	n/a	24.3	24.3		
Lupron	147	49	196	3.9	(8.4)	(10.0)	0.4	--		
Creon	148	--	148	47.6	n/a	n/a	47.6	47.6		
Sevoflurane	20	114	134	0.9	(1.1)	(3.3)	(0.8)	(2.7)		
Synagis	--	109	109	n/a	18.3	11.9	18.3	11.9		
Dyslipidemia	63	--	63	(76.9)	n/a	n/a	(76.9)	(76.9)		
Duodopa	--	56	56	n/a	20.8	20.2	20.8	20.2		

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。Dyslipidemiaには、TriCor/Trilipix、Niaspan、Simcor、Advicorの売上が含まれています。

n/a = 該当なし

アツヴィ

主要製品の売上高

9か月通算（2014年9月30日終了）

（未監査）

	売上高（単位：100万米ドル）			9か月通算前年比				
	米国	米国外	合計	米国外			合計	
				調整後	調整前	調整後	調整前	
<b>売上高合計</b>	<b>\$7,681</b>	<b>\$6,827</b>	<b>\$14,508</b>	<b>4.3%</b>	<b>9.3%</b>	<b>8.1%</b>	<b>6.6%</b>	<b>6.1%</b>
Humira	4,592	4,588	9,180	28.7	13.4	13.2	20.6	20.5
AndroGel	704	--	704	(5.7)	n/a	n/a	(5.7)	(5.7)
Kaletra	163	504	667	(9.9)	(6.6)	(8.8)	(7.4)	(9.1)
Lupron	420	151	571	2.5	(5.7)	(8.9)	0.1	(0.8)
Synagis	--	537	537	n/a	12.0	4.7	12.0	4.7
Synthroid	523	--	523	20.8	n/a	n/a	20.8	20.8
Sevoflurane	61	369	430	12.1	5.7	3.2	6.6	4.4
Creon	365	--	365	23.2	n/a	n/a	23.2	23.2
Dyslipidemia	224	--	224	(77.3)	n/a	n/a	(77.3)	(77.3)
Duodopa	--	164	164	n/a	24.5	26.9	24.5	26.9

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。Dyslipidemiaには、TriCor/Trilipix、Niaspan、Simcor、Advicorの売上が含まれています。

n/a = 該当なし

アツヴィ

連結損益計算書

四半期ならびに9ヵ月通算（2013年および2014年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第3四半期 (9月30日終了)		9ヵ月通算 (9月30日終了)	
	2014	2013	2014	2013
純売上高	\$5,019	\$4,658	\$14,508	\$13,679
売上原価	1,094	1,092	3,307	3,299
販売費および一般管理費	1,595	1,261	4,383	3,904
研究開発費	812	714	2,418	2,057
外部調達による仕掛研究開発費	308	220	324	290
<b>営業経費合計</b>	<b>3,809</b>	<b>3,287</b>	<b>10,432</b>	<b>9,550</b>
営業利益	1,210	1,371	4,076	4,129
支払利子（正味）	128	69	262	210
正味為替差損	174	11	182	40
その他（利益）費用（正味）	221	5	226	(14)
法人税控除前利益	687	1,286	3,406	3,893
法人税	181	322	822	893
<b>純利益</b>	<b>\$506</b>	<b>\$964</b>	<b>\$2,584</b>	<b>\$3,000</b>
<b>希薄化後1株当たり利益</b>	<b>\$0.31</b>	<b>\$0.60</b>	<b>\$1.60</b>	<b>\$1.86</b>
<b>希薄化後1株当たり利益（特定項目を除く）</b>	<b>\$0.89</b>	<b>\$0.82</b>	<b>\$2.43</b>	<b>\$2.32 a)</b>
平均希薄化後発行済株式数	1,610	1,605	1,609	1,602

a) 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

注：2013年および2014年の9月30日終了四半期ならびに9ヵ月通算における希薄化後1株当たり利益は、純利益を普通株主と参加型証券保有者間で配分する2種方式に従って算出しました。

## アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2014年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

### 1. 業績に影響した特定項目は以下のとおりです。

	2014年度第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前 (GAAP)	\$687	\$506	\$0.31
特定項目を調整：			
- 無形固定資産の償却	98	70	0.04
- 分社化費用	109	98	0.06
- 外部調達による仕掛研究開発費	308	206	0.13
- Calico社との提携費用	250	250	0.15
- Shire社取引費用	276	172	0.11
その他	139	147	0.09
調整後 (非GAAP)	\$1,867	\$1,449	\$0.89

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アツヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費は、主にInfinity社との提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、先頃発表したCalico社との提携に関連する前払い金を反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。その他の特定項目は、主に新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料に関連します。

### 2. 各特定項目の影響は以下のとおりです。

	2014年度第3四半期						
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	支払利子（利益）	その他利益（正味）
調整前 (GAAP)	\$1,094	\$1,595	\$812	\$308	\$174	\$128	\$221
特定項目を調整：							
- 無形固定資産の償却	(98)	--	--	--	--	--	--
- 分社化費用	(4)	(104)	(1)	--	--	--	--
- 外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(308)	--	--	--
- Calico社との提携	--	--	--	--	--	--	(250)
- Shire社取引費用	--	(36)	--	--	(165)	(75)	--
- その他	(44)	(129)	--	--	--	--	34
調整後 (非GAAP)	\$948	\$1,326	\$811	--	\$9	\$53	\$5

### 3. 2014年度第3四半期の調整後税率は、以下のとおり22.4%でした。

	2014年度第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$687	\$181	26.3%
特定項目	1,180	237	20.1%
調整後 (非GAAP)	\$1,867	\$418	22.4%

## アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2013年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

### 1. 業績に影響した特定項目は以下のとおりです。

	2013年度第3四半期		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
調整前（GAAP）	\$1,286	\$964	\$0.60
特定項目を調整：			
- 無形固定資産の償却	137	98	0.06
- 分社化費用	51	33	0.02
- 外部調達による仕掛研究開発費	220	220	0.13
- 事業再編/その他	14	12	0.01
調整後（非GAAP）	\$1,708	\$1,327	\$0.82

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アツヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費とは、過去に発表したAblynx社およびGalapagos社との提携に関連する前払い金を反映しています。事業再編/その他は、主に過去に発表した再編活動に関連するものです。

### 2. 各特定項目の影響は以下のとおりです。

	2013年度第3四半期				
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他利益（正味）
調整前（GAAP）	\$1,092	\$1,261	\$714	\$220	\$5
特定項目を調整：					
- 無形固定資産の償却	(137)	--	--	--	--
- 分社化費用	(4)	(46)	(1)	--	--
- 外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(220)	--
- 事業再編/その他	(7)	--	(4)	--	(3)
調整後（非GAAP）	\$944	\$1,215	\$709	--	\$2

### 3. 2013年度第3四半期の調整後税率は、以下のとおり22.3%でした。

	2013年度第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$1,286	\$322	25.0%
特定項目	422	59	14.0%
調整後（非GAAP）	\$1,708	\$381	22.3%

## アッヴィ

### GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9か月通算（2014年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

#### 1. 業績に影響した特定項目は以下のとおりです。

	2014年9か月通算		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
<b>調整前 (GAAP)</b>	<b>\$3,406</b>	<b>\$2,584</b>	<b>\$1.60</b>
特定項目を調整：			
- 無形固定資産の償却	307	218	0.14
- 分社化費用	299	282	0.17
- 研究開発費	40	40	0.03
- 外部調達による仕掛研究開発費	324	222	0.14
- Calico社との提携費用	250	250	0.15
- Shire社取引費用	283	179	0.11
- その他	148	154	0.09
<b>調整後 (非GAAP)</b>	<b>\$5,057</b>	<b>\$3,929</b>	<b>\$2.43</b>

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。研究開発費は、過去に発表した提携に対する支払いに関連しています。外部調達による仕掛研究開発費とは、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、先頃発表したCalico社との提携に関連する前払い金を反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。その他は、事業再編活動および新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料に関連しています。

#### 2. 各特定項目の影響は以下のとおりです。

	2014年9か月通算						
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	支払利子（利益）	その他利益（正味）
<b>調整前 (GAAP)</b>	<b>\$3,307</b>	<b>\$4,383</b>	<b>\$2,418</b>	<b>\$324</b>	<b>\$182</b>	<b>\$262</b>	<b>\$226</b>
特定項目を調整：							
- 無形固定資産の償却	(307)	--	--	--	--	--	--
- 分社化費用	(10)	(286)	(3)	--	--	--	--
- 研究開発費	--	--	(40)	--	--	--	--
- 外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(324)	--	--	--
- Calico社との提携費用	--	--	--	--	--	--	(250)
- Shire社取引費用	--	(43)	--	--	(165)	(75)	--
- その他	(51)	(131)	--	--	--	--	34
<b>調整後 (非GAAP)</b>	<b>\$2,939</b>	<b>\$3,923</b>	<b>\$2,375</b>	<b>--</b>	<b>\$17</b>	<b>\$187</b>	<b>\$10</b>



3. 2014年9か月通算の調整後税率は、以下のとおり22.3%でした。

	2014年9か月通算		
	法人税 控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$3,406	\$822	24.1%
特定項目	1,651	306	18.5%
調整後 (非GAAP)	\$5,057	\$1,128	22.3%

## アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9か月通算（2013年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

### 1. 業績に影響した特定項目は以下のとおりです。

	2013年9か月通算		
	純利益		希薄化後
	税引前	税引後	EPS
<b>調整前 (GAAP)</b>	<b>\$3,893</b>	<b>\$3,000</b>	<b>\$1.86</b>
特定項目を調整：			
- 無形固定資産の償却	408	294	0.18
- 分社化費用	152	97	0.06
- 外部調達による仕掛研究開発費	290	290	0.18
- 事業再編/その他	70	60	0.04
<b>調整後 (非GAAP)</b>	<b>\$4,813</b>	<b>\$3,741</b>	<b>\$2.32</b>

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費とは、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。事業再編/その他は、主に過去に発表した再編活動とベネズエラの通貨切り下げの影響に関連するものです。

### 2. 各特定項目の影響は以下のとおりです。

	2013年9か月通算					
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	その他利益（正味）
<b>調整前 (GAAP)</b>	<b>\$3,299</b>	<b>\$3,904</b>	<b>\$2,057</b>	<b>\$290</b>	<b>\$40</b>	<b>(\$14)</b>
特定項目を調整：						
- 無形固定資産の償却	(408)	--	--	--	--	--
- 分社化費用	(11)	(135)	(6)	--	--	--
- 外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(290)	--	--
- 事業再編/その他	3	(38)	(15)	--	(11)	(9)
<b>調整後 (非GAAP)</b>	<b>\$2,883</b>	<b>\$3,731</b>	<b>\$2,036</b>	<b>--</b>	<b>\$29</b>	<b>(\$23)</b>

### 3. 2013年9か月通算の調整後税率は、以下のとおり22.3%でした。

	2013年9か月通算		
	法人税 控除前	法人税	税率
<b>調整前 (GAAP)</b>	<b>\$3,893</b>	<b>\$893</b>	<b>22.9%</b>
特定項目	920	179	19.5%
<b>調整後 (非GAAP)</b>	<b>\$4,813</b>	<b>\$1,072</b>	<b>22.3%</b>